

兵庫県南あわじ地域

水稻・牛・たまねぎの循環システムが育んだ
淡路島のおいしいものを訪ねる旅

日本農業遺産「南あわじにおける
水稻・たまねぎ・畜産の生産循環システム」

兵庫県淡路島の南あわじ地域では、農地が少なく水に恵まれない「島という環境」に適応するため、ため池、河川、用水路や地下水を組み合わせたかんがい施設が発達し、稲刈り後にたまねぎを栽培する二毛作が行われてきました。それにより、稲わらを乳牛の飼料とし、牛ふんを堆肥化させたものを土にすき込んでたまねぎを栽培する循環システムが確立されています。太陽光と海風でたまねぎを乾燥させる「たまねぎ小屋」はこの地特有の風景です。



①甘くてやわらかい淡路島たまねぎ。南あわじ市におけるたまねぎの作付面積は全国4位を誇る②自然の風でたまねぎを乾燥させるたまねぎ小屋③農業用水を公平に分配するために設けられた円筒分水④現在も数軒の農家が「長屋門」とよばれる門の中で牛を飼育している

1日目

洲本バスセンター

▼ 車で約22分



淡路ファームパーク イングランドの丘

広大な敷地を誇る農業公園。収穫体験ができる野菜畑、トマトやいちごの温室のほか、コアラやワラビーなど約30種類の動物も見学できます。レストランでは淡路牛と淡路島たまねぎを使った「うし重」が人気。

住所：兵庫県南あわじ市八木養宜上1401
電話：0799-43-2626



▼ 徒歩約2分



美菜恋来屋(みなこいこいや)

淡路島のおいしいものがそろう直売所。売り場面積日本最大級を誇るたまねぎをはじめ、鮮度抜群の野菜、ブランド牛の「淡路ビーフ」、乳製品、近海の魚、地ビールに名産のそうめんも充実。淡路島のみやげ探しに最適。

住所：兵庫県南あわじ市八木養宜上1408
電話：0799-43-3751



▼ 車で約12分



淡路島濱田ファーム

たまねぎ農家の濱田哲司さんから、淡路島たまねぎの歴史や栽培の工夫、おいしさの秘密などのお話を聞いた後、たまねぎの植え付けや収穫を体験(9~6月)。それ以外の期間はたまねぎの袋詰めが体験できます。

住所：兵庫県南あわじ市松帆志知II860-1
電話：090-1582-7592



▼ 車で約40分



宿泊 アグリミュージアムNADA

廃校になった小学校を活用した宿泊施設。「校庭トマト」、「教室パズル」を栽培しており、これらを収穫してピザ作りが楽しめます。釣った魚をさばいて食べる体験や地域食材のバーベキューも人気です。(要問合せ)

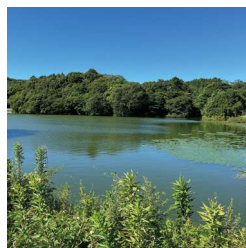
住所：兵庫県南あわじ市灘山本313
電話：070-9012-1349



2日目

アグリミュージアムNADA

▼ 車で約22分



サザンバード 農業遺産ツアー

淡路島の農業を深掘りするツアー。かつて農家が牛を飼っていた「長屋門」と呼ばれる屋敷構や、ため池が密集する風景などを見学。たまねぎの収穫やつり干し(時期によってはたまねぎジャム作り)を体験します。

集合住所：兵庫県南あわじ市賀集生子963
電話：080-4236-0626



▼ 車で約12分



淡路人形座

淡路島の郷土芸能、淡路人形浄瑠璃を通年上演する常設館。公演前には演目のあらすじやみどころ、人形の動かし方も解説されます。バックステージ見学と短い演目の鑑賞を組み合わせたプログラムも人気です。

住所：兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先
電話：0799-52-0260



▼ 車で約12分



うずの丘 大鳴門橋記念館

大鳴門橋と鳴門海峡を見渡せる商業施設。巨大たまねぎのオブジェ「おっ玉葱」は撮影スポットとして大人気。たまねぎが主役のハンバーガーにたまねぎのクレーンゲームもあり、たまねぎ尽くしの時間が過ごせます。

住所：兵庫県南あわじ市福良丙936-3
電話：0799-52-2888



▼ 車で約30分

洲本バスセンター

大阪からのアクセス

🚗 🚶 鉄道・バスをご利用の場合

JR大阪駅

JR舞子駅

高速舞子バス停

洲本バスセンター

JR神戸線で約50分、舞子駅下車、徒歩約5分、

高速舞子バス停から淡路交通バス、洲本バスセンター行きで約1時間

🚗 自動車をご利用の場合

大阪方面

阪神高速、神戸淡路鳴門自動車道 約1時間30分

洲本I.C.